



2017年に参加したすべてのボランティアやインターンのみ なさんに心から感謝を申し上げると共に、特に際立った活 動実績をご紹介します:

マングローブ 38,000本を含む樹木 52,700本以上を植林

37,500人に 健康診断を含む 医療サービスを提供

子供を含む 8,000人以上に + 3,400人以上に 衛生指導



トイレ15室、 教室16室、 家4軒を建設

ネパールで 大地震復興支援活動を 無事完了

フィリピンで 便器200据と 蛇口20口を設置



ペルー人英語教師 英語教育のトレーニング

識字教育プログラムを通して 生徒100人に 読み書き指導

プロジェクトアブロード 完全出資のケアセンターで、 子供たち合計200人に 幼児教育

メキシコとペルーで 匹以上の カメを保護 自然に還すことに成功

ボツワナとケニアで、 密猟防止パトロールを通して 仕掛けられた輪なわやワイヤー 800以上を撤去

ペルーのタリカヤ自然保護区で 6の新種の野鳥の 生息を確認

フィジーでマングローブ植林 10.000本以上という

活動史上最高記録を達成

現地のビジネス経営者 融資を行い、 事業拡大と生活を支える 収入増加を支援

拘置所に拘留されていてた タンザニアの青少年 88人の 釈放を実現

南アフリカで 法的支援を通して 9の案件を決着

貧困層出身の アルゼンチンの人々

全活動国で 総量13トン以上の ゴミを回収



健康と福祉の促進

プロジェクトアブロードは、SDGsを支援しています。

3 すべての人に 健康と福祉を

国連の3番目の持続可能な開発目標は、年齢を問わず健康的な生活と福祉を促進すること。プロジェクトアブロードは、医療&ヘルスケア系のプロジェクトで同じ目標を掲げています。2017年、公衆衛生活動やヘルスケア指導を通して、37,500人に医療サービスを届けました!

これらの地域型の活動によって果たした貢献:

- ケニアのナニュキで医師たちがストライキ中、現地に暮らす人々2,000人以上に無料で基礎医療サービスを提供。多くの人々が公共医療サービスに頼る中、ストライキの影響の軽減に貢献しました。
- 駆虫プログラムを届けたケニアの子供たち合計2,000人以上。寄生虫による感染症の削減に貢献しました。.
- 全活動国に暮らす人々合計3,469人に基礎応急処置を指導。
- 全活動国に暮らす人々計4,300人に安全な性交渉について教育。性感染症予防に貢献しました。
- 全活動国に暮らす人々合計632人にHIVエイズ検査を実施。
- ガーナに暮らす人々合計3,278人に肝炎の検査を実施。感染を確認した100人以上の人々に適切な医療機関を紹介しました。





2017年、現地に暮らす人々 37,500人に健康診断を含む 医療サービスを提供しました。



に与えた影響

2017年に重視した活動の一つは、現地に暮らす人々の健康と福祉の促進。生活水準の低さや生活を営む上で不可欠なサービスの欠如は、地域の発展を妨げます。プロジェクトアブロードは、現地に暮らす人々が直面する問題に対して、改善が必要とされている分野を明確にし、支援。例えば、田舎の地域での医療サービスの提供や生活に欠かせないトイレの設置などのインフラ整備などがあります。

これらの活動は、国連の複数の持続可能な開発目標に直結しています。



プロジェクトアブロードは、 SDGsを支援しています。



働きがいも 経済成長も















詳しい数値:



14,837



血糖値測定 **7,465**



ヘルスケア促進キャンペーン 対象者合計

9,000

これらの検査で平均値を上回る数値が確認された人々には、最寄りの医療機関を紹介。

定期的なヘルスケア教育や医療サービスの提供は、すでに現地に暮らす人々に直接的な良い影響を与えています。プロードは、これからもこれらの活動を長期的に行うことによって、地域の健康と福祉に明確な違いをもたらしていきます。

事例

プロジェクトアブロードの公衆衛生活動は、 単なる数値以上の意味を持ちます。例えばカ ンボジアでは、現地の女性の暮らしに大きな 違いをもたらしました:

プロジェクトアブロードの無料健康診断を通して、あるカンボジア人の女性が6年間高血圧に苦しんでいたことが判明。残念ながら、彼女の収入では病院に通えない状況でした。そこで、プロジェクトアブロードの公衆衛生インターンたちは、月に一度この女性に診療と医薬品を無料で提供。4ヶ月後には彼女の血圧が著しく低下し、患っていた高血圧が原因の症状も軽減しています。

プロジェクトアブロードは、特別支援を必要とする人々へのケアにも努めています。身体的また は精神的に障がいのある人々は特別な支援を必要としていますが、それらの支援を受けられる ほどの収入がなかったり、あるいは必要なサービスが存在しなかったりします。そこでプロジェク トアブロードの理学療法のインターンたちは、これらの支援を提供。中でもすでにスキルや経験 があるインターンたちは、現地の理学療法士や理学療法を勉強中の地元の学生たちへの指導を 行いました。

この活動は大きな成功を収め、疾患や障がいを抱える人々の生活の質の向上に貢献しました:

- ベトナムとガーナの言語療法士インターンたちが、「Picture Exchange Communication System」と呼ばれる視覚イメージを利用した伝達システムを導入。 このシステムを利用し、特別支援施設の教師と言葉を話すことができない子供たちとの 意思の疎通が可能になりました。
- カンボジアの理学療法のインターンたちが、現地の介護人を対象に持ち上げの動作に 関するワークショップを実施。これらの専門技術は、患者さんたちのケガ予防及び尊厳 の維持だけでなく、普段きちんとしたトレーニングを受ける機会がない介護側の人々の 支援にもなっています。









栄養管理の海外インターンシップでは、「飢えゼロ」という国連の2番目の持続可能な開発目標に沿って活動しています。ここでの狙いは、飢えという問題に取り組み、食糧の確保、栄養管理の向上、持続可能な農業に努めること。2017年、プロジェクトアブロードも存在するこれらの問題に取り組みました:

- 南アフリカで、1,200人の子供たちの発育をモニタリング。このプログラムを通して、肥満、栄養失調、発育不全の子供たちを特定しました。それぞれが抱える問題に沿って、これらの子供たちの保護者、ヘルパー、現地の教師にアドバイスを提供。
- 地元産の体に良い食材の生産を促進することを目的とし、活動国全体で合計200人以上のために菜園を設置。健康に良いレシピを教える料理教室も実施しました。
- サモアで、現地の女性300人に妊娠中の栄養管理の重要性を教育。





南アフリカでは、すでに目に見える結果が出始めています。2017年の7、8ヶ月の間に、Floreat小学校の350人の生徒たちの発育不全が6.25%から2.57%に減少し、低体重の児童が3.69%から1.1%に減少しました。

アルゼンチン、ガーナ、ジャマイカで食事提供プログラムを実施。現地に暮らす人々が、定期的に最低限の食事を摂れるようになりました。これは、特に発育途中の子供たちやホームレスの人々にとって非常に重要な支援です。

空腹では授業にもなかなか集中できないもの。プロジェクトアブロードは、アルゼンチン、カンボジア、マダガスカルの提携デイケアセンターに預けられる子供たちが昼食や軽食を毎日摂れるよう、完全出資を行っています。 また、南アフリカでのサーフィンプロジェクトに参加する現地の子供たちにも無料で食事を提供しています。 発展途上国の地方や恵まれない地域では、安全な水ときちんとした衛生環境が行き届いていないことがほとんど。プロジェクトアブロードは、この改善に努めており、最終的には、屋外での入浴や排せつへの終止符を打ち、人々の尊厳を取り戻せるよう取り組んでいます。これは、国連の6番目の持続可能な開発目標に沿った活動です。

例えばフィリピンのサンレミジオでは、何千もの家庭がトイレなしの生活を送っています。そして、その家庭の多くに特別な支援を必要とする人々が存在。屋外での排泄は、疾患や感染症にかかる危険性を高めています。そこでプロジェクトアブロードのボランティアたちは、これらの家庭のために便器200据の設置に貢献しました。

ジャマイカの保健省と定期的に連絡を取り合っている プロジェクトアブロード。ある日、ジャマイカの保健省 がプロジェクトアブロードに荒廃した一部屋に暮らし ているあるシングルマザーとその息子の家族につい て言及しました。トイレや浴室がない生活では、屋外 での排泄や水浴を避けられない状態。そこでプロジェクトアブロードのボランティアたちは、この一家の家を修繕し、トイレと浴室を設置しました。

プロジェクトアブロードは、2017年にマダガスカルで導入した「WASHプログラム」を非常に誇りに思っています。このプログラム始動のきっかけは、マダガスカルでの公衆衛生の海外インターンシップの活動中に地域内で浮かび上がった衛生管理問題。公衆衛生インターンたちは、衛生指導を通して現地に暮らす人々の問題に対する認識を促進し、衛生環境の改善に貢献しています。



14 **2017**年活動実績 www.projects-abroad.jp

プロジェクトアブロードは、SDGsを支援しています。





質の高い包括的な教育と生涯学習 の促進



国連の4番目の持続可能な開発目標同様、プロジェクトアブロードは、すべての人々に教育が届けられるべきであると考えています。

学習は、学校卒業後も継続すべきもの。2017年は、ペルーの教育ボランティアたちが特にすばらしい実績を残してくれました。プロジェクトアブロードが提供する現地の英語教師への英語教育トレーニングプログラムにペルー人の英語教師700人以上が応募し、過去最高を記録!

この地元の英語教師への英語教育のトレーニングは、毎年現地の学校の休暇中にペルーの教育省と共に行われています。このトレーニングでは、特に支援が求められているスピーキングや発音などの英語力向上と、英語教授法の指導を行っています。

多くの地元の英語教師からトレーニングへの参加応募をいただきましたが、残念ながら定員は400人。もっと多くの先生たちが参加できるよう、今後、より多くのみなさんがペルーでの教育ボランティア活動に参加してくれることを期待しています!









2017年、教育ボランティアがペルー人英語教師400人を対象に英語教育のトレーニングを行い、英語力向上と英語教授法の指導に貢献しました。



ボランティアたちは手作業で多くの建設、修繕、塗装活動に貢献しました:



42 _{教室}



11 保育園



り アルゼンチン、フィジー、 ジャマイカの遊び場



2 セネガルとネパールの 学校の講堂



カンボジアとガーナの 図書館



<u></u> -ナの学ホ

ガーナの学校の食堂



スリランカとエチオピアの 特別支援を必要とする子供たちの 身体能力や知覚神経を刺激する空間

2015年にネパールを襲った大震災直後、プロジェクトアブロードは大地震復興支援プロジェクトを始動し、教室の再建に努めました。2017年3月までに

学校9校で合計96の教室

の建設に成功し、結果、生徒2,160人の学校教育再開の 実現に貢献!目標を達成し、現地での状況が改善された 今、ネパールでの大地震復興支援プロジェクトは無事完 了を迎えましたが、プロジェクトアブロードは現在でも建 築の海外ボランティアを通した支援を行っています。





地域型の子供のケア活動への移行に伴い、プロジェクトアブロードは以下のような幼児教育に焦点をあてた活動を行っています:



子供たち一人ひとりの レベルに合った 少人数制の教育



子供たちが元気に楽しく 学べるような 環境作り



2~6歳の特別な支援を必要とする 子供たちへの 補習授業

カンボジア

プロジェクトアブロードは、現地NGO機関Khemaraと提携し、プノンペンにある3つの保育園に出資。子供を預ける費用を低く抑え(1日約80~110円)、家計を支える両親が安心して働きに出かけられるよう支援しています。

合計109人の子供たちが通うこれらの保育園では、プロジェクトアブロードからの出資によって、より多くの教師や調理員の雇用が実現し、より充実したチャイルドケアが実現。さらに、プロジェクトアブロードのケアボランティアが子供たちに英語教育を始めとした基礎教育やサポートを提供。結果、2017年末には22人の子供たちの小学校入学が認められました。



マダガスカル

マダガスカルでは、プロジェクトアブロードにより完全出資・運営が行われている幼児教育センターで活動しています。この幼児教育センターは、アンダサイブという村の需要に応えて設立されました。

マダガスカルでは、学校教育が無料で提供されているものの、制服や教科書、その他の学校生活に必要なものは自分で揃えなくてはならないことから、貧しい家庭の子供たちは学校に通うことなく幼少期を過ごします。例え学校に通えたとしても、多くの子供たちが授業についていけず、途中で辞めてしまうこともよくあります。

プロジェクトアブロードの幼児教育センターでは、これらの子供たちが小学校入学への十分な学力とスキルを身につけ、学校教育を通して大きく成長できるよう支援しています。ボランティアたちは、基礎となる読み書きや算数を指導しています。またプロジェクトアブロードは、子供たちへの経済的支援を行う現地の提携NGO機関Handasibeと協力し、幼児教育センターを卒業した子供たちが、小学校入学に必要な経済的援助を受けられるようサポートしています。

2016/2017年度は、8人中5人の子供たちが地元の小学校への進学を果たしました。プロジェクトアブロードは、残りの子供たちの保護者と話し合い、小学校に入学するまでのもう一年、幼児教育センターでこれらの子供たちをサポートすることを約束しました。

新学期に入り、さまざま年齢の子供たち25人が幼児教育センターに入学。ボランティアのみなさんからの協力を得て、少なくても小学校入学の年齢に達する5人の子供たちが無事進学できることを目指しています!

モンゴル

モンゴルでは、ひとり親の子供たちをケアする地区センターで活動を行っています。中には、特別支援を必要とする子供たちも存在。2017年、プロジェクトアブロードのケアボランティアたちは、この地区センターの15人の子供たちのために、以下のような形で貢献しました:

- 寒さ対策として、施設に断熱材を導入
- 増築のための基礎を建築
- 本棚の設置
- 日々の幼児教育と基礎教育のサポート



タンザニア

タンザニアのMeseraniにある幼稚園は、この地域で幼児教育を提供する唯一の教育施設。この幼稚園は、プロジェクトアブロードが100%出資、運営を行っており、現地の教師2名、給食担当と掃除担当、メンテナンス担当各1名への給料もプロジェクトアブロードによって賄われています。

2017年、地域内に暮らす子供たち70人がこの幼稚園に通園。プロジェクトアブロードは、教材や給食を含む学校教育に必要なすべての資金を援助しています。

ボランティアたちは、現地の教師のサポートや少人数のグループに分かれた幼い子供たちへの教育を支援。現在この幼稚園は、最寄りの公立の小学校に進学する子供たちを送り出す主な輩出先となっており、2017年は24人の子供たちが小学校進学を果たしました。

プロジェクトアブロードの幼稚園出身の子供たちは適応能力が高く、他の子供たちより優れた成績を残しており、現地の小学校教師たちからの評判は非常に好評です!



「私が活動したクラスでは、ほと んど紙とペンは使用せずに授業 が行われていました。そのかわり にひたすら話し、発音やアクセン トにこだわって授業が展開され ていました。またそのような授業 を見るだけではなく、自分でする ことによって自分の英語を話す力 を見つめ直すことができたし、教 える時にどのような点を意識して 教えればいいのかを考えること ができました。この経験を日本で 教師になった時にも活かしてい きたいです」

カンボジア 教育の海外ボランティア ボランティア 谷口知章さん

| 識字教育プログラム

生きていく上で、読み書きができることは非常に重要です。プロ ジェクトアブロードのボランティアたちは、何百人もの子供たち の識字能力の向上を支援してきました。

2017年は、特にベリーズでの結果が顕著に現れました。ボラン ティアたちは、ベリーズの小学生を対象とした識字教育プログ ラムの拡大と成功に大きく貢献。当時、識字教育プログラムに 携わっていたのは地元のボランティア6人のみ。現地の小学生 が授業についていけるよう、文字の識別から読解力までさまざ まな読み書きの補習授業への支援が求められていました。

プロジェクトアブロードのボランティアたちの活躍を受け、2017 年9月には2校目でも識字教育プログラムを始動させまし た。2016年8月当時、45人の子供たちを対象に行われていたこ の識字教育プログラムには、現在70人の子供たちが参加してい ます。さらに28人の子供たちが受け入れ待ちという人気ぶり!

2017年の年度末には、11人の生徒たちがこのプログラムを無 事に修了し、他の生徒たちもそれに続く大きな進歩を遂げてい

識字教育プログラムで8人の子供たちに教えている地元のダニ エル先生は、子供たちの読み書き能力が非常に伸びていると言 います。例えば、学年度開始時には英語を話せなかった2人の 生徒が、授業について行けるまでに成長。全体的にも読書と学 習に対する子供たちの意欲が高まり、授業で積極的に発言する ようになったと言います。





プロジェクトアブロードは、SDGsを支援しています。

国連の11番目の持続可能な開発目標の1つは、世界に誇る 文化や自然遺産を後世につなげることです。プロジェクトア ブロードは、ペルーとルーマニアで、この開発目標に結びつ いた考古学の海外ボランティア活動を行っています。

2017年の始め、プロジェクトアブロードはペルー文化省から Pikillaqta国立公園とSacsayhuaman遺跡公園での遺跡発 掘活動の許可を取得しました。古代インカ文明の儀式が行わ れた場所での発掘作業や、壁から地衣類(菌類と藻類が共生 してできた複合体)を取り除くメンテナンス作業に貢献。これ らの活動は、歴史深い地域の保全において非常に重要です。

また、Tiponという地域の南の谷にある未開拓の3つの現場 で、新しい岩面彫刻を発見し、登録。さらなる研究のため、こ の情報はペルー壁画協会に報告されました。

ルーマニアの考古学ボランティアたちは、Alba Iulia Citadel の中心地で、遺跡発掘作業の完了に貢献。この遺跡現場の保 全完了後は、ホテルが建設される予定です。ここで発掘され たすべての出土品は、Alba Iulia博物館に送られ、出土品整理 作業や研究が完了後、展示会に出品される予定です。



あなたも、支援を必要としている場所で人々に手を差し伸べる一員 になりませんか?www.projects-abroad.jpから詳細をチェック!

現地に暮らす人々の地位向上が地域の発展につながると考えるプロジェクトアブロードは、マイクロファイナンスの海外インターンシップを通して、持続可能な経済成長と雇用の促進を支援しています。これは、国連の1番目と8番目の持続可能な開発目標に直結しています。

2017年、マイクロファイナンスプロジェクトに参加したインターンたちは、小口融資を通して 現地の起業家合計221人の小規模ビジネスの経営拡大を支援しました。この小口融資は、少額の貯金と学費の支払いを可能にする貴重なサポート。ローン受益者の中には、新しい家への投資や初めての銀行口座開設を検討する人も出ているほどです!

プロジェクトアブロード

プロジェクトアブロードは、特にガーナでの活動を誇りに思っています。2017年、マイクロファイナンスを通してアクアペムヒルズの地域の発展を大きく支援。この地域の経済的自立が実現した今、マイクロファイナンスの活動拠点をケープコーストへ移行し、現在、ハンセン病キャンプの起業家たちや漁村出身の女性たちを支えています。

ハンセン病キャンプに暮らす人々は、ハンセン病に対する偏見によって社会から疎外されているため、経済的に困難な状況に置かれ、特に支援を必要としています。プロジェクトアブロードは、このキャンプに暮らす人々に経済的支援やビジネストレーニングを提供している唯一の団体なのです。



「ハンセン病キャンプに住む多くの人々の暮らしは困難を極め、経済的支援を必要としています。銀行から融資を受けることが難しい彼らにとって、このマイクロファイナンスを通した支援は本当に夢のようです。みんな日々食べるものに困っていましたが、このプロジェクトのおかげで毎日食事を摂れるようになりました」



事例

タンザニアで行われているマイクロ ファイナンスの海外インターンシッ プでも、心温まるストーリーがあり ました。

Fatumaさん30歳は、一家の大黒柱。 彼女の夫は、糖尿病により盲目である上、経済的理由から健康保険に加入しておらず、必要な薬をたまに服用するのみという状況。彼らには3人の子供がいます。

プロジェクトアブロードからの無利子の小口融資により、Fatumaさんはビジネスを軌道に乗せることができただけでなく、子供たちを養うために必要な貯金までできるようになりました。また、以前は泥でできた家の1部屋に一家5人全員が寝泊まりし、もう一部屋は他人に貸し出すという共同生活を送っていましたが、マイクロファイナンスインターンたちの寄付により、Fatumaさん一家は土地の一角に建てられた新しい家で生活できるようになりました。



国連の5番目の持続可能な開発目標は、男女平等の実現。性的暴行の被害体験を告白・共有する「#metoo」旋風と同様、2017年は女性と女性の権利が多く取り上げられました。



女性や少女たちの地位向上が重要と考えるプロジェクトアブロードは、ガーナとタンザニアでマイクロファイナンスを通して女性の起業家たちを支援。アルゼンチン、カンボジア、マダガスカルをはじめとした国々では、無料で子供の保育を提供し、母親たちの経済的な活動を後押ししています。

人権保護の海外インターンシップでは、発展途上国に暮らす女性や少女たちに、自分が持つ権利について教育。インターンたちは、家庭内暴力、暴力的な女性器切除、相続、離婚など、さまざまな問題に関する人権について教育ワークショップを行い、今度は現地の女性たち自身が主体となって、地域内で人権に対する理解を呼びかけられるよう支援しています。またインターンたちは、離婚や子供の扶養費に関する問題解決への支援も行っています。

事例

2017年、南アフリカで活動中の法律&人権保護のインターンたちが、家庭内暴力に苦しむ地元の女性の離婚成立に貢献しました。当初、彼女は自分と子供たちの身の危険を感じ、家庭内暴力の被害者女性たちのための避難所で暮らしていました。そんな中、プロジェクトアブロードのスタッフとインターンたちの努力が実り、離婚成立が実現。現在は避難所から引っ越し、夢だった教師として働きながら暮らす日々を送っています!この現地の女性は、インターンによって行われた避難所でのワークショップや、現在も継続されている法的支援のおかげで、自分が持つ権利について学ぶことができました。



プロジェクトアブロード

平和と公正を導くリーダー的機関

国連の16番目の持続可能な開発目標は、平和で包括的な社会の推進に焦点をあてています。これは、各発展途上国で行われているプロジェクトアブロードの法律&人権保護の海外インターンシップの取り組みと大きく結びつきます。2017年、インターンたちは以下の貢献を果たしました:

- タンザニアの青少年の事案の調査と書類作成に貢献。努力が実り、 青少年88人の釈放が実現しました。タンザニアでは、軽犯罪を犯し た青少年が、初公判までの何ヶ月もの間拘置所に拘留されることが あります。2018年、プロジェクトアブロードは経過観察として、これら の釈放された青少年を対象に職業訓練プログラムを運営していま す。
- 南アフリカで、449の案件を決着へ導きました。貧困地域で行っているプロジェクトアブロードの無料法律相談所は、法的支援サービス料金を支払うことができない人々にとって、非常に貴重な存在。難民の人権や財産権、家族法などをはじめとしたさまざまな案件を扱っています。
- アルゼンチンの貧困層出身の方やホームレスの人々合計56人の身分証明書取得に貢献。これらの人々が、公共サービスを受けられるようになりました。



事例

ガーナの少年院でボランティア として活動していたソーシャル ワーカーの専門家が、Kwache 君という現地の少年が特 別支援を必要としている事 実を確認。このボランティア は、Kwache君が専門知識を持 つスタッフから教育を受けられ るよう、彼の特別支援学校への 転校に尽力。3年間矯正施設か ら一歩も外に出たことがなか ったKwache君は、12週間に渡 るこのソーシャルワーカーボラ ンティアからのサポートのおか げで、全く話せない状態から基 本的な言葉を話せるまでに上 達しました。





気候変動対策

気候変動への対策と人的要因による環境破壊の軽減がこれまで以上に求められる現代。

気候変動への具体的な対策は、国連の13番目の持続可能な開発目標として取り上げられており、プロジェクトアブロードも気候変動対策の分野で見本となれるよう努めています。2017年、以下のような貢献を果たしました:

- 海、ビーチ、公園、自然保護区、地域コミュニティ内で86回の清掃活動を通して、ゴミ13.1 トンを回収。特にプラスチック製品が環境や野生動物に及ぼす悪影響の軽減に貢献しました。
- 全活動国で合計52,700本の樹木を植林。失われた熱帯雨林再生を目指し、マダガスカルだけで固有種13,000本の植林に貢献しました!
- マダガスカルでエコストーブ9台を設置。木材の使用20%削減に貢献しました。
- カンボジアで、「Ecobrick」という活動を始動。この活動は、プラスチック製のゴミを 詰めたペットボトルをレンガとして利用し、壁、家具、菜園などを建設するものです。 「Ecobrick」の取り組みは、ゴミ処理やリサイクルシステムが確立していないの活動拠点の一つKoh Sdach島では、特に重要な活動。現地の子供たちにも「Ecobrick」について教育し、プラスチック製のゴミの再利用を促進しています!

気候変動に取り組むにあたって、問題への認識は不可欠です。プロジェクトアブロードは、活動拠点にある多くの地域で、持続可能な生活を営むよう促進活動を行っています。





2017年、活動国合計約3,000人の人々に環境問題に関する認識促進キャンを実施。ボランを実施・ボラ切って対しました。なり、カースをは、適切ではいりました。



プロジェクトアブロードは、海洋環境を保護し、持続可能な海洋資源の利用を促進するという国連の14番目の持続可能な開発目標を支持しています。

| マングローブ植林への熱い想い

2017年、プロジェクトアブロードのボランティアとスタッフがマングローブ38,000本を植林。フィジーでマングローブ植林一日10,000本以上という活動史上最高記録を達成!

プロジェクトアブロードが、マングローブ植林を重視する理由は...

- 二酸化炭素削減において、他の樹木より高い効率を発揮するため
- 海洋生物に棲みかを提供するため
- 土壌侵食の食い止めに貢献するため
- 地球規模で、ほぼ50%のマングローブが消失したため
- 二酸化炭素削減を通して、気候変動を抑制できるため

なるほど!な事実

蜂蜜生産に十分な花の蜜を作り出すマングローブが存在することをご存知でしたか?つまり、マングローブを利用して蜂蜜生産を増やし、現地の蜂蜜生産者を支援することができます。実際、タイで活躍するボランティアたちは、マングローブ用に水路を掘り、自給自足型で環境にやさしい養蜂の地域型事業を支援しています。









サンゴの白化現象に待ったをかける

サンゴ礁は、何千種もの海洋生物の棲みかであり、強い波から海 岸線を守る重要な役割を果たします。そんなサンゴ礁が、現在存 続をかけた大きな危険に直面しています。その理由は、気候変動 による海水温の上昇にあります。海水温の上昇はサンゴ礁の生 命力を弱め、繁殖を停止させます。結果、まるで海の幽霊とも言え るようなサンゴの白化現象が進行しているのです。

サンゴの白化現象を食い止めるため、現在、海洋環境保護活動家たちが世界中でサンゴの養殖に努めています。もちろん、プロジェクトアブロードも協力。

プロジェクトアブロードはタイのピピ国立公園のサンゴ礁再生を支援すべく、2017年にサンゴの繁殖保護活動を始動。8月以来、435のサンゴの繁殖が行われました。繁殖率は88%に上昇という快挙を達成!また、長期的な保護を実現するため、サンゴの繁殖地域へのボート進入禁止の実現に成功しました。

近い将来、プロジェクトアブロードは、このタイでの活動を他の国でも展開したいと考えています。その間も、ベリーズ、フィジー、タイでサンゴ礁のモニタリングを継続していきます。

発想の転換: 除去を通した環境保護

ベリーズの海では、外来種であるミノカサゴという魚の増加が大きな問題となっています。ミノカサゴには天敵がほとんど存在しないため、個体数の急激な増加がベリーズの海洋生態系を乱す結果に。環境保護ボランティアたちは、サンゴ礁やベリーズ固有種の魚を保護するため、ダイビングをしながら槍を使ってミノカサゴを捕まえるというミノカサゴの除去を通した海洋環境保護活動を行っています。

とは言っても、ただミノカサゴを捕獲するだけではありません。ミノカサゴは、レモン汁を絞ればご馳走に!つまり、ミノカサゴの捕獲は、現地の漁師やレストランにとって収入の足しに役立てることができます。

2016年12月以来、ボランティアたちはミノカサゴ 1,842匹の捕獲に成功しています。



「最初はミノカサゴを除去することに抵抗を感じました。でも、世界中の海での200回以上のダイビング経験を通してその 猛威を目の当たりにしてきたので、除去活動は非常に重要だと思います」

ベリーズ海洋環境保護の海外ボランティア イギリス人ボランティア Susannah Jonesさん(24週間参加) 32 **2017**年活動実績 www.projects-abroad.jp



ウミガメは、厳しい天候や環境汚染、密猟者からの命の危機に直面しています。統計上では、地球上に存在する成体の太平洋オサガメは、わずか2,300匹のみという驚愕の事実。

メキシコで活躍する環境保護ボランティアたちは、800時間以上にも及ぶビーチの夜間パトロールや新しい卵の孵化場の設置を通して、ウミガメの保護活動に懸命に取り組み、すばらしい実績を残しました:

2017年、 自然に還した ウミガメの赤ちゃん 合計約90,000 **工**!



526 オサガメの孵化



フレクロウミガメの孵化

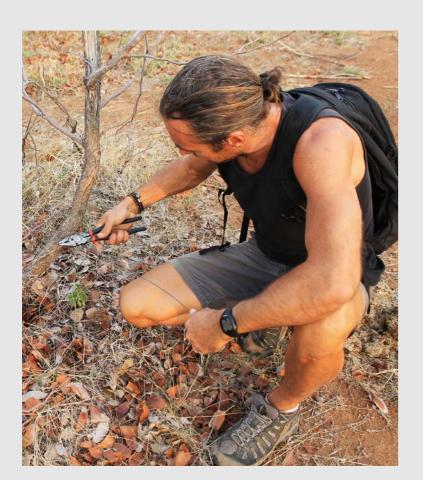


88,736 ヒメウミガメの孵化 「今、私たち人間が抜本的な海洋保護活動に取り組まなかったら、20~25年後にオサガメは絶滅するでしょう」

ペルーでも、1,000匹近いカメの赤ちゃんを自然に還すことに成功。プロジェクトアブロードは、回収した卵を安全な孵化場で保護しています。メスのカメは、卵を産むために必ず故郷のビーチに戻ってくる習性があることから、カメの巣の数が徐々に増えている事実は、ボランティアたちが自然に放っ

た赤ちゃんのカメが、成長して再び戻って来ていることを意味します!

メキシコ 環境保護の海外ボランティア プロジェクトマネージャー Pablo Lobera 2017年、環境保護ボランティアとスタッフは陸でもすばらしい活躍を見せました。活動は、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止及び逆転、並びに生物多様性損失の阻止を含む国連の15番目の持続可能な開発目標に沿って行われています。



| 密猟者対策

アフリカでは、密猟者の存在が野生動物絶滅を招く一因になっています。ボツワナとケニアの環境保護ボランティアたちは、現地の自然保護区で働くスタッフが行っている密猟防止パトロールを補助。野生動物にとって脅威となる輪なわやワイヤーの撤去にも貢献しました。2017年、動物たちを死に追い込む1,800の仕掛けられた輪なわの撤去を達成。

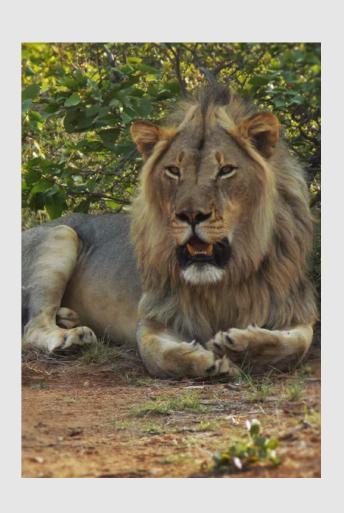
ボランティアたちは、シマウマなど罠にかかったり撃たれた野生動物8頭の救助にも貢献。対応したすべての救助や数値を、現地当局に報告しました。パトロールを通して明らかになった罠の数の減少は、密猟の減少を示しています。

野生動物の密猟は、南米にも及んでいます。その中でも、人目を惹く外見から密猟が後を絶たないコンゴウインコ。そんな中、コスタリカの環境保護ボランティアたちは、密猟者から5つのコンゴウインコの巣を保護し、2017年、3羽の孵化と巣立ちに成功しました。この活動は、コンゴウインコ保護の必要性への認識促進に貢献しており、2011年時点で11羽だった個体数が、2017年には17羽に増加しています。

| 野生動物の保護

ケニアでは、ライオンの個体数が減少の一途を辿っています。これは、現地の農場経営者たちが家畜を捕食するライオンを捕獲していることに起因します。そこで、環境保護ボランティアとスタッフは、ライオンと農場経営者が共存できるよう伝統的な牛の囲いを強化。こうしてライオンが農場に入ることを未然に防ぎ、ライオンが農場経営者たちによって処分されずに済む環境を整えました。

アフリカ南部では、干ばつが野生動物に大きな影響を及ぼしています。ボツワナの環境保護ボランティアたちは、2つの人工的な溜池の設置と4つの溜池の修繕に貢献。ソーラーパネル式のポンプが導入されたこれらの溜池は、野生動物に一日10,000リットルの水を供給しています。この人工的な溜池は野生動物が近づきやすいよう考慮して設置され、現在ではゾウ、ヒョウ、ライオンなどの群れが水を飲みにやって来ています。



36 **2017**年 活動実績 **www.projects-abroad.jp**

| ペルーでの野生動物のリハビリと救助活動

ペルーのアマゾン熱帯雨林は、世界でも有数の生態 系を誇ります。その一角であるプロジェクトアブロー ドの環境保護活動の拠点タリカヤ自然保護区では、 現在多くの支援が求められています。

タリカヤ自然保護区での主な活動の柱は、自然に 還すことを目的とした野生動物のリハビリ。2017年 は、21頭の野生動物を自然に戻すことに成功し、現在 これらの動物たちは安全な環境で元気に暮らしてい ます。これは、活動史上最多の記録!

野生動物を自然に還す当日には、ペルー政府当局、メ ディア、プロジェクトアブロードの現地提携機関Animal Defenders International関係者も駆けつけました。

タリカヤ自然保護区の動物保護センターは、2017年 に新たに青と黄色のコンゴウインコの赤ちゃん、マザ マジカの赤ちゃん一頭、プロジェクトアブロードにとっ て四頭目となるメガネグマ一頭を迎えました。ボラン ティアたちは、これらの動物たちが自分で餌を食べる ことができるようになるまで哺乳瓶を使ってミルクを 与え、成長を見守りました。

ドミンガと名付けられたこのメガネグマは、現地提 携機関Animal Defenders Internationalによる救助 後、2017年2月にプロジェクトアブロードの元に連れ て来られました。当時、体毛が抜け落ち、皮膚真菌感 染症を抱え、痩せこけていたドミンガ。タリカヤ保護区 またタリカヤ自然保護区では、愛が芽生えています! ルチョーとサビナと名付けられた2頭のメガネグマ が、繁殖期を迎えています。タリカヤ自然保護区でメ ガネグマの赤ちゃんが誕生した場合、ある程度成長し た後に自然界に放つことができるかどうか、現在ペル 一政府と協議を行っている段階です。

またプロジェクトアブロードは、2017年3月にクスコ で開催された第1回メガネグマ保護会議にて、メガネ グマの繁殖という先駆者的な活動について共有しま

タリカヤ自然保護区にあるこの広大な動物保護セン ターの運営には、多くの労力、時間、資金を要します。 タリカヤ保護区での活動は、一頭一頭すべての動物 に応じた食事の準備、檻の清掃、プールの水の入れ替 え、必要な薬剤の投与など、多忙な毎日。プロジェク トアブロードの献身的な専門スタッフと熱心なボラン ティアのみなさんなしには決して達成できなかったも のばかりです。



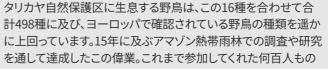
エクアドルのガラパゴス諸島と ペルーで新種の野鳥発見と保 護活動

プロジェクトアブロードは、エクアドルにあるガラパゴス国立公 園と正式に提携を結んでいる唯一のボランティア団体。エクアド ルの環境保護の海外ボランティアでは、現地の専門スタッフと共 に、エクアドル固有種の動植物や島の自然環境を守る活動を行 っています。

Galapagos Petrelと呼ばれるウミドリは、エクアドルの固有種の 一つ。残念ながら、島で急増しているネズミがウミドリの巣から卵 を食べあさり、ウミドリの存続が脅かされています。そこで、プロジ ェクトアブロードとガラパゴス国立公園はネズミの免疫を後退さ せる専用の退治薬を導入。この退治薬は、他の動物に影響を及 ぼさずにネズミの個体数削減を可能にしています。

その後、モニタリングを続けたエクアドルの環境保護ボランティア たちが、ウミドリの個体数10%増を確認!ネズミの個体数40%減 が導いた結果です。

ペルーのタリカヤ自然保護区で行われているさまざまな環境保 護活動。2017年は、16の新種の野鳥の生息を確認し、熱帯雨林 に生きる野鳥の保護において飛躍の年となりました。











発展途上国の地域への経済的支援

ボランティアやインターンのみなさんの存在は、さまざまな形で発展途上国の地域コミュニティ の経済的支援に結びつきました:

- 活動国で現地住民300人の雇用
- 6~8月の夏の忙しい時期を支える臨時職員74人の雇用
- ・ ホストファミリー合計88家庭への収入









環境保護活動



がカンボジア、マダガスカル、セネガルの保育園



2 ガーナとタンザニアの 学校



ペルー インカ考古学活動



建築活動



7 公衆衛生活動



り 人勧オフィスと 人権保護活動



スポーツ教育活動: ガーナのサッカークラブ 南アフリカのサーフィン教育



4 マイクロファイナンス 活動



3 栄養管理活動



2 ジャーナリズム 活動と出版







